

令和5年8月 岡山市教育委員会臨時会 会議録

1 開催日	令和5年8月8日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時30分	
	閉会	14時50分	
3 出席委員	教育長	三宅泰司	
	委員	河内智美	
	委員	石井希典	
	委員	上西芳樹	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	岸川和忠	教育次長	島田和男
次長(教育総務部長兼務)	疋田洋一	学校教育部長	植山智恵
生涯学習部長	道広浩章	教育企画総務課長	山邊真由美
教育企画総務課企画調整担当課長	佐藤美穂	教職員課長	斎藤靖
学校指導課長	西山径	教育支援課長	竹中茂樹
保健体育課長	藤井健介	教育研究研修センター所長	八木信英
生涯学習課長	上野喜宣	生涯学習課課長代理	永井正博
中央図書館長	永田朱美	事務局 (教育企画総務課指導主査)	仲宗根篤史
事務局 (教育企画総務課主事)	難波実佑		
5 議題及び結果			
議案 第22号 令和4年度岡山市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書について 原案可決 て			
6 教育長等の報告			
報告なし			

7 議事の概要

教育長

全委員
教育長
全委員
教育長

全委員
教育長

企画調整担当課長

- 岡山市教育委員会臨時会を開会する。
傍聴者はいるか。
- 〈いない〉
- 本日1日限りとしてよろしいか。
- 〈承認〉
- では、本日1日とする。
次に、議事に入る前に、会議の公開、非公開について諮る。
日程第3の報告第22号は、個人に関する情報を含み、会議を公開することにより個人の権利、利益を害するおそれのある事項に該当する。そのため、岡山市教育委員会会議規則第7条第1項第5号に基づき非公開としたいと思う。よろしいか。
- 〈承認〉
- それでは、日程3の報告第22号は非公開と決定する。
それでは、早速日程第2、第22号議案を教育企画総務課から説明願う。
- 教育企画総務課である。
確認になるが、教育委員会の事務に関する点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき実施している。今回の点検・評価の対象は令和4年度の事業であり、第3期教育振興基本計画としては初年度の点検・評価となる。
資料1ページから21ページまでの内容は、5月の定例会後の協議会でお諮りしたものである。22ページから24ページは外部評価委員のご意見を、25ページには意見交換会でいただいたご意見の概要を記載している。
26ページから27ページをご覧ください。
ここでは具体的な取組や今後の方向性について4つの視点でまとめている。
まずは1つ目、学力の向上及び問題行動等の防止及び解決における指導、支援の充実についてである。全国平均レベル以上の学力を維持している一方で、生徒の英語力、CEFR A1相当以上の英語力は全国平均を下回る状況が続いているため、令和5年度から中学校第3学年の全生徒に対して英検I B A（英語能力測定検査）を実施し、その結果を活用して生徒の学習改善、教員の指導改善を図っていくことについて記載している。また、問題行動等については、暴力行為の発生件数、いじめの解消率が改善傾向にあるものの、不登校の出現率は増加傾向にあるため、令和5年度から不登校傾向にある子ども等に対して支援員によるICTを活用した別室での学習支援等やモデル校に設置した校内支援教室での学習指導を新たに進めていることについて記載している。
2つ目、GIGAスクール構想によるICT活用など教育の情報化についてである。本市の政策指標である授業でコンピューターなどのICTを毎日使用する子どもの割合は、令和3年度に比べ増加しているものの数値は低い状況であるので、子どものICT活用率の向上に向けて、教員の経験年数やスキルに応じた研修の実施、ICT支援員の配置や機器の障害対応などのサポート体制の充実、ネットワークの再構築や各校へのモバイルWi-Fiルーター配備など、ICT機器が安定的に稼働する環境整備に一体的に取り組むことを記載している。また、ICTの効果的な活用をさらに進めるべきというご意見をいただいたので、引き続き活用事例の収集を行い、各学校が好事例を共有できる仕組みづくりを進めていく。
3つ目、家庭や地域と協働した取組の充実についてである。本市の政策指標である「学校内外の人材活用により子どもの総合的な学力が伸びてきている、学校園は学びやすい環境づくりや安全などに配慮して施設整備を整えている」と答えた保護者の割合は令和3年度と比べ低下しており、このことか

ら、学校園の取組や工夫が保護者に伝わりにくい、伝わっていないことがうかがえた。令和5年度からは、従来の教育広報紙や教育委員会LINEに加え、新たに導入する保護者連絡ツールや動画配信など様々な媒体を活用して、教育委員会や学校園の取組について、保護者をはじめとする市民の皆様に積極的に情報発信をしていく。また、学校と家庭が子どもを中心につながりを持ち続ける仕組みづくりの手だての一つとして地域学校協働活動を活性化し、地域と学校園が連携、協働して様々な学習や体験の機会を子どもたちに提供することができるよう、地域学校協働本部の設置及び推進員の配置やその支援等に務めていくことを中心にまとめている。

最後、4つ目、各政策を支える環境整備及び人材育成等に係る取組の充実には、どの政策を進める上でも関連する「教職員の働き方改革」や「教員の人材育成の推進」、「教育環境の設備整備」をまとめて記載した。具体的には、資質、能力のある人材や多様な経験を持つ人材の確保につなげるため、小・中学校の特別教室への空調設備の整備や学校の給食費の公会計化などによる教職員の負担軽減などの学校園の環境の充実に取り組む。また、核となる人材を育成するために、令和8年度供用開始を目指す新教育研究研修センター（仮称）に向けて求められる研修の在り方をこれからも研究していく。また、昨年度に引き続き、事務局では働き方改革ワーキンググループによって人員の確保、業務内容の見直し、業務サポート体制の充実などの様々な面から働き方改革を進めているところである。

以上、令和4年度の主な事業についていただいたご意見を基に既に取り組んでいることや今後の方向性について記載させていただいた。ご審議をお願いする。

なお、本日議決いただいたものは次の議会に提出し、その後ホームページで公表することになる。

- 何か質問、ご意見等あったら願います。
 - 14ページ一番上、運動習慣定着化事業で基準値が中2男子8.5%で、令和4年の実績値が8.5%のため、男子の矢印が右の横に来るのが正しいのではないかと。
 - そこについては、間違いである。横向きの矢印が正しいものである。
 - 外部評価委員の意見交換会の概要をととても端的にまとめており、すごいと思っを見せていただいたが、この中にも学力向上に関して、ICTの関連で学力向上にもどちらにも関係することがまとめられているけれども、大きな項目をつくったときに学力向上、問題行動防止、それからGIGAスクール構想によるICT活用と分かれたときに、ICT関連で非常に学力向上に役立つようなことが学力向上の項目からは抜けている。英語に特化して書いてくださっているという実態があるが、学力向上というのは非常に大きな課題で、次年度に英語だけに特化していくもったいないなという感じがする。
- ここにも書いてあるように、本当に令和4年度途中で教育長が言ってくださった授業に対するわくわく感は、ICTの活用によってすごく授業の中で生かされていくものだと思う。音楽や美術を使って授業をすることもできるし、それからICTを活用することによって個々に応じた指導もできるし、いろいろな可能性をもった学力向上につながる一つのツールとして、今後、研究を進めていき、向上につなげたらよいということからも、両方にまたがるけれども、関連した記載があればよいという感じがしたけれども、この項目を分けているから難しいか。

- ICTに関しては広くどの施策にも関わる部分があって、最後の4つ目にも含んで書いている部分、そこは環境整備の部分であるけれども、少し学力にも、GIGAスクールのICTの活用にも入って、最後の項目にも入るということを検討したけども、難しい状況であり、今の形に落ち着いたところである。意見として伺いたいと思う。

教育長
河内委員

企画調整担当課長
河内委員

企画調整担当課長

<p>教育長 企画調整担当課長 教育長</p>	<p>○ 来年度はどうか。G I G Aスクール構想も入って3年目だと思うが。 ○ そうである。 ○ もう分けないほうがよいのかもしれない、河内委員が言われるように。G I G Aスクールだけ取り出すから余計書きにくくなると思う。</p>
<p>河内委員</p>	<p>○ G I G Aスクールのところは整備に重点を置いた内容にして、授業そのものの改善や、いろいろな子どもがわくわくするようなI C Tを用いた教材開発や活動の在り方などは学力向上に入れたらよいという気がした。今回は学力に関する意見があまり出なくて、そこをまとめられたので、このような形になるのはよく理解ができるけれど、大きな課題であるのに英語だけというところが少し引っかかった。</p>
<p>教育長</p>	<p>○ 私は7月に文科省に要望に行った。私が「岡山市はなかなか授業で使えていない。授業の中で使うのが難しい」と言ったときに、G I G Aスクール担当の課長が「岡山市はどうされているか」と聞かれたので、「スタートのところはみんなクロムブックを持ちましょう、開きましょう、アカウントを入れましょうと一斉指導をしていた」と言ったら、「それは違う」と言われた。「クロムブックは教具である」と。だから、コンパスや鉛筆と一緒に、本当は机の上に置いてあり、もう取り立ててみんなでクロムブックを使いましょうという授業は、これからはしないほうがよいのではないかと思った。 ある学校によっては朝、かばんにクロムブックを入れて、必要なときに子どもが取り出して調べているので、もう3年たって、来年度あたりから考え方を変えていかないといけないと思う。 今年度はこれが検討した結果であるが、来年度の検討材料だと思う。</p>
<p>教育企画総務課長 教育長 全委員 教育長</p>	<p>○ 了解した。 ○ よろしいか。 ○ 〈なし〉 ○ それでは、いろいろご意見があつて、来年度につながるものであつたが、第22号議案を原案どおり可決してもよいか。</p>
<p>全委員 教育長</p>	<p>○ 〈承認〉 ○ 第22号議案を提案どおり可決する。</p>
<p>傍聴の状況</p>	
<p>報 一</p>	<p>道 般 0名 0名</p>

令和5年8月 岡山市教育委員会臨時会（非公開） 会議録

1 開催日	令和5年8月8日（火）		
2 開会及び閉会	開会	14時50分	
	閉会	14時52分	
3 出席委員	教 育 長	三 宅 泰 司	
	委 員	河 内 智 美	
	委 員	石 井 希 典	
	委 員	上 西 芳 樹	
	委 員	片 山 美 香	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	岸 川 和 忠	教育次長	島 田 和 男
次長（教育総務部長兼務）	疋 田 洋 一	学校教育部長	植 山 智 恵
生涯学習部長	道 広 浩 章	教育企画総務課長	山 邊 真由美
保健体育課長	藤 井 健 介	事務局 （教育企画総務課指導主査）	仲宗根 篤 史
		事務局 （教育企画総務課主事）	難 波 実 佑
5 議題及び結果			
報告 第22号	専決処理の報告について		承認